○○（品目名）の国内における生産・供給量を増加させるため、○○工場において○○（品目名）の生産に必要な新たな設備を導入する。これにより、自社における年間当たりの生産（供給）能力を○%向上させ、安定供給確保取組方針において定める○○（品目名）の国内における年間生産（供給）能力/年のうち、○%を自社で確保することで、○○（品目名）の安定供給確保を目指す。

（注１）安定供給確保取組方針において定められている基本的な目標及び方向性を踏まえ、安定供給確保のための取組全体を通して達成しようとする、安定供給確保を図るために必要な供給能力等の目標を記載すること。
（注２）取組の実施により供給確保を図ろうとする品目の取引先及び供給量並びに原材料の調達先・調達量等の変更が見込まれる場合はその内容及び目標を記載すること。
（注３）２以上の品目の安定供給確保を図ろうとする場合には、上欄を追加してそれぞれの品目ごとに記載すること。

（３）取組の内容及び目標数値

実施予定の取組種類を下表から選択し、実施予定の取組ごとに具体的な取組内容及び事業計画終了年度において達成しようとする目標数値を記載すること。

取組種類	
１．	生産基盤の整備
２．	供給源の多様化
３．	備蓄
４．	生産技術の導入・開発・改良
５．	使用の合理化
６．	代替となる物資の開発
７．	その他

（注）「４．生産技術の導入・開発・改良」には、特定重要物資等の性能等の向上に関する開発も含む。

特定重要物資又はその生産に必要な原材料等の品目名①：			
取組番号	取組種類	目標数値 （例：１．及び４．の取組を実施することにより達成しようとする生産（供給）能力及びその増加率。２．及び３．の取組を実施することにより達成しようとする備蓄量及びその増加率）	目標数値を達成するまでの具体的な取組内容
①		（例） 事業終了年度である 20XX 年度において、○○工場（新たに整備した工場）における○○（対象となる品目名）の生産（供給）能力を、事業開始年度と比して○%向上させる。また、事業実施期間中の 20XX 年度においては、○○工場（新たに整備した工場）における○○（対象となる品目名）の年間当たりの生産量を○○（単位）確保することを目指す。 （設備の先端性を追加的な要件として設けた場合） なお、供給量の継続的な確保のため、この取組において導入する設備については、既存の設備の単なる置き換えではなく、○○（メーカー名）の最新のカタログに掲載されている設備であり、既存の設備と比較して、～～～～～（性能面等で優れている点を記載）の点において優れており、○○（品目名）の生産量の増加を見込むことができる。	（例） ことから、20XX 年○月、～～～な○○（立地場所）に新たな○○（品目名）の生産施設を整備する。これにより、国内における新たな供給源を確保することができる。○○工場における生産は 20XX 年○月開始を予定し、年間当たりの生産能力を○○（単位）確保する。20XX 年○月には、市場への供給を開始し、これにより、事業終了年度には、国内への供給量が○%増加する見込みである。
②		（例） 当該技術を実装したクラウドサービスにおいて、20XX 年時点で、国内売上額○億円を目指す。	（例） 自社のクラウドサービスの競争力強化により国内市場におけるシェアを拡大していくため、○○の技術について、20XX 年Ｘ月より○人規模で技術開発を開始し、20XX 年Ｘ月までに技術を確立する。その後、20XX 年までに当該技術を自社のクラウドサービスに実装し、当該クラウドサービスにおける売上額の拡大を目指す。
③		（例） 当該電子計算機を活用したクラウドサービスにおいて、クラウドサービス提供開始時から	（例） 高度な電子計算機を活用したクラウドサービスに関する基盤クラウドプログラムの開発を図っていくため、20XX 年○月、○○（立地場所）に新たな